

株式会社八重瀬堆肥センター（沖縄県八重瀬町）

R3補正
R4当初

56

背景・課題

八重瀬町を含む沖縄県南部では酪農をはじめとした畜産業が盛んな地域であるとともに、サトウキビ、野菜(ピーマン等)、花卉(キク)等の耕種農業も盛んな地域である。そのため、地域内での乳用牛排せつ物の循環利用が期待されるところであるが、悪臭等の課題により、利用が進んでいない状況。

成果目標と達成状況

- 成果目標は、令和6年までに野菜・花卉の耕種農家におけるバイオ液肥の年間散布面積を令和3年度実績の26haに加え、新たに7.5ha以上の散布面積の拡大とした。
- 令和4年度の耕種農家への散布面積は48.4haとなり、令和3年度から22.4haの散布面積が拡大し、成果目標を達成した。

取組の成果

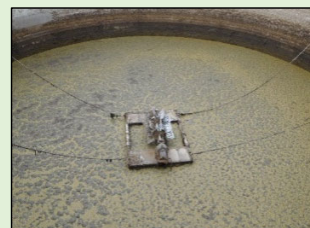
野菜・花卉におけるバイオ液肥を活用した生育調査結果を基にした講習会やパンフレットによる普及啓発活動等により耕種農家の理解・関心が高まり、バイオ液肥の需要が増加した。



- 地域の酪農農家からバキュームカーを使用し、ふん尿を回収



- バイオガスプラントからメタンガス（発電利用）とバイオ液肥を生産
- 固形分は堆肥化し利用



- メタンガスから得られた電力は売電
- バイオ液肥はバキュームカーでほ場へ運搬



- バイオ液肥を耕種農家へ配布・散布サービスを行い活用促進



普及に向けた取組

- ・各作物の最適な栽培条件を把握するため、バイオ液肥の散布方法（時期、回数等）の検討
- ・バイオ液肥の利用促進を図るための講習会の開催やパンフレットを作成
- ・バイオ液肥需要の増加に対応し、良質なバイオ液肥の安定確保を図るため発酵槽を増設

問い合わせ先

沖縄県農林水産部畜産課 TEL：098-866-2269